

平成 28 年 7 月 22 日

各 位

広島市安佐南区祇園 3 丁目 28 番 14 号
株 式 会 社 ア ス カ ネ ッ ト
代表取締役社長兼 CEO 福田 幸雄

第 21 回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨について

平成 28 年 7 月 22 日に開催いたしました第 21 回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨をお知らせいたします。株主総会におきましては質疑はございませんでしたが、その後の懇談会におきまして、以下のとおり、延べ 8 名の株主様から 13 件のご質問・ご提言をいただき、役員一同が回答いたしました。

(質問要旨)

エアリアルイメージング事業について黒字化はいつごろになる見込みでしょうか。

(回答要旨)

黒字化は事業をどの程度のスケール感を持って進めるかで、時期が変わると考えています。我々はこの事業のマーケットが非常に大きいと思っているので、それを前提に営業や生産の研究を進めていきたいと考えています。もうしばらく進めてみないと、黒字化の時期が明確に出来ませんので、その点ご理解ください。

(質問要旨)

エアリアルイメージング事業を推進する上で、広告代理店との業務提携が有効と思いますが、いかがでしょうか。

(回答要旨)

広告代理店からもお話をいただいていますし、その他いろんなジャンルの方とお話をさせていただいております。広告代理店の方にシーテックやデジタルサイネージジャパン等に来ていただいて現物をご覧ください。

(質問要旨)

パナソニックと提携という話があったと思いますが、現在の進行状況を教えてください。

(回答要旨)

パナソニック様は初期の段階から熱心にお話をいただいておりますが、残念なことに、なかなか本格量産化や、それに伴う価格の明確化が出来なかったため、その時点では、パナソニック様のスピード感に合いませんでした。それは、パナソニック様に限った話では無く、本格量産化を待っていただき、応援をいただいている状況です。

(質問要旨)

近年、葬祭の簡素化・低価格化が進んでいると思いますが、今後の業績への影響を教えてください。

(回答要旨)

今後、死亡者数が増加することが見込まれ、それに伴い、葬儀業界に参入する会社も増えている中、葬儀の簡素化や低価格化が進んでいるのは事実であります。当社の遺影写真は、葬儀費用全体の中では、大きなコストを占めるものではないため、それほど影響はないと考えます。新規の顧客を獲得していくことで、今後も数パーセントずつではありますが、成長は継続できると考えております。

(質問要旨)

ドコモのフォトコレクションプラスの内容について教えていただけますでしょうか。

(回答要旨)

ドコモ様では、元々写真を預けるフォトコレクションというサービスがあり、その中でフォトコレクションプラスという、月額300円程度で写真集かL版プリントが毎月発注できるサービスがあります。その製造部門をアスカネットが請け負っているという構造です。OEMの性質上、売上金額は公表できませんが、順調に注文をいただいております。分母が非常に大きいので、我々としても期待しております。

(質問要旨)

株主なので、株価の事が気になるのですが、恐らく1年前の株価の半分くらいになっていると思います。その原因として考えられることはおありでしょうか。

(回答要旨)

株価について、直接コメントする事は難しいですが、かといって、軽視しているわけではなく、株価は意識しております。株価を上げるには、業績を上げるしかないと考えています。今の株価の形成はエアリアルイメージング事業の期待感が大きくあり、我々は、その期待に十分応えていないという現状は強く認識しております。エアリアルイメージング事業の売上が十分ではないことについて、大きな問題意識を持っております。

(質問要旨)

堺のイオンのオープンに際して、その JTB で AI プレートを表示していたので、見に行きましたが、店に置いてあるだけで何の説明もなく、ほとんど注目されていなかった。少しでも役に立ってもらいたと思い、私が説明をさせてもらいました。アスカネットの社員でもいいから、説明員が必要なのではないのでしょうか。そうすることで、もっと浸透すると思います。

(回答要旨)

わざわざ見に行っていてありがとうございます。AI プレートの使用目的はこのようなサイネージ用途と、タッチパネルに代わる操作系用途があります。まだ生産量が限られ、価格がこなれていないため、操作系用途での採用はなかなか難しいのが現状です。一方、JTB 様のような、サイネージ用途は、ある程度の価格でもご採用いただけたと考えています。ご指摘のように、サイネージ系としての見せ方や置き方の研究をしていきたいと思っております。

(質問要旨)

エアリアルイメージング事業ですが、現在でもオールジャパン体制で開発しているのでしょうか。

(回答要旨)

製造はオールジャパンです。大きな会社や高い技術をお持ちの会社など複数の会社が量産の形でのプレートの製造に取り組んでいただいております。

(質問要旨)

AI プレートのサンプル品は公開しないのでしょうか。東京・大阪だけでなく広島でも見られる機会はないのでしょうか。

(回答要旨)

ある程度の量が作れるようになったので、今後は、多少価格は高いですが、ネットでも気軽に多くの方に AI プレートを購入できるような施策を進めています。今期中には可能になると思っております。その先は、ネットなどで多言語でグローバルに幅広く販売できるよう、営業方針を変えて取り組んでまいります。それも含めまして、東京・大阪だけでなく、いろんな地域でご活用いただけるようになればと思っております。

(質問要旨)

エアリアルイメージング事業のことなのですが、研究開発費は確か 4,000 万円だったと思います。利益も出ていますし、研究開発費を倍増すれば、研究開発はより進むのではないのでしょうか。

(回答要旨)

試作に関する費用は、委託先とシェアしており、費用はそれほどかかりません。研究員を増やしても、製造方法の解決は難しいですし、設備に費用をかけるにしても、現状は最適な設備が確定していないため、投資はしにくいです。お金で解決できればある意味楽なのですが、試行錯誤の繰り返しで解決を進めるしかないところです。

(質問要旨)

海外からの問い合わせはどのような状況でしょうか。

(回答要旨)

これまで、国内優先の方針で進めており、海外向けサイトもない状態です。ただ、展示会などご覧になって、海外からの問い合わせはあり、個別に対応しております。今後は、サイト等で海外にも販売をしていく方針です。

(質問要旨)

うる覚えですが、経済産業省が発表した今後力を入れていく日本の最新技術のテーマに、アスカネットさんが組み込まれていると思うのですが、何か進んでいる事はありますか。

(回答要旨)

申し訳ありませんが、全く情報がありません。

(質問要旨)

29年4月期に、樹脂プレートの製造方法を絞り込む方針とありますが、万が一、ガラスと同一の製造方法になった場合、コストは下がるのでしょうか。

(回答要旨)

ガラスと同一の製造方法は、工程に手間がかかるため、試作レベルではガラスより安いですが、劇的に安くなる訳ではありません。ただ、量を作る上で、機械化出来る部分があり、それが機械化出来れば、安くなる可能性はあります。新製法の方が、安くなると考えていますが、技術的な課題もあり、まだクオリティが上がらず、完成していないため、もう少ししつこくトライさせていただきたいです。

以 上